

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-2 自然とのふれあいの推進
---------	------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	森脇 幸	電話番号	0852-22-5346
----------	------	------	--------------

事務事業の名称	中国自然歩道管理事業		
目的	(1) 対象	中国自然歩道の利用者数	
	(2) 意図	安全で快適な利用の確保を図る。	
事業概要	県が整備した中国自然歩道の遊歩道・施設について、地元市町村に除草、清掃、パトロール等を委託し、日常的な管理を行っている。 また、自然災害などによる倒木・落石などの処理を行い、安心・安全な利用が出来るよう維持管理に努めている。 更に危険箇所については、通行止などの対応により、利用者の安全確保に努めている。 また、パンフレットの配布、県ホームページを活用し、中国自然歩道の情報の提供や利用促進を行っている。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 中国自然歩道の利用者数	目標値		450.0	450.0	450.0	450.0	千人
		取組目標値		552.0	552.0	552.0	552.0	
	式・定義 中国自然歩道の利用者数	実績値	552.0	526.0				
		達成率	-	95.3				
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	42,482	128,135
うち一般財源 (千円)	7,602	12,234

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・H28年度は、災害発生により通行止の箇所があったため利用が減少した。
- ・中国自然歩道における県所管施設の維持修繕を行う一方、危険箇所については、通行止などの対応により、利用者の安全確保に努めた。
- ・また、パンフレットの配布、県ホームページを活用し、中国自然歩道の情報の提供や利用促進を行っている。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

参考指標としている利用者数も目標を達成した。危険な箇所は、通行止めにする事により、中国自然歩道の安全性の確保は図られた。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

利用者や自然保護レンジャーから、施設の破損や不具合、自然災害による倒木・落石・除草など苦情・連絡が多い。

### ②困っている状況が発生している「原因」

過去に整備した施設の老朽化が進んでいる。自然災害による倒木・落石などが多数発生している。

### ③原因を解消するための「課題」

- 古い施設が多い
- 施設修繕や倒木・落石などの処理に対する予算、体制が十分でないことから、復旧できていない箇所があり、利用者の要望に応えることが出来ない。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 老朽化の状況や利用頻度等から判断し、緊急度の高い箇所から修繕を進める。
- 老朽化の状況や利用頻度等から判断し、不要な施設は撤去する。
- 地元や自然保護レンジャー等によるボランティア整備事業を拡充し支援する。
- 通行止め等の復旧予算や、倒木・落石処理などを行う予算を十分に確保し、安心・安全な利用ができるように整備に努める。
- 国立公園満喫プロジェクトと連携して利用が促進するよう安心・安全・快適な施設整備を図る。